

JMITU北部地域支部
ホームページ
http://jmitu-tokyo-hokubu.org/



北部地域支部機関紙 第240号
2022年 8月10日(水曜日)
JMITU (日本金属製造情報通信労組)
東京地方本部 北部地域支部

Mさんの60歳定年継続雇用拒否とのたたかい・解決!

解雇から半年で解決に
7月15日、東京都労働委員会のあつせんにより、M組合員の「60歳定年後の65歳継続雇用拒否」問題は、会社が「和解金」を支払うことで解決しました。
Mさんは1月末に60歳定年を迎える数ヶ月前から「65歳までの雇用継続」の希望を会社に申し出ていましたが拒否されました。支部は団体交渉を定年前に2回、定年後に3回の行い、「会社は法律で定められた65歳までの継続雇用の義務を守る」とを強く求めました。追い詰められた会社は、団体交渉による組合の追求を避けるため5月末、東京都労働委員会へ「あつせん」申請を出しました。支部は、Mさんの早期解決による生活維持のため東京都職員「あつせん」による和解解決に応じました。

あつせんの場合でも かたくなな会社

6月〜7月の期間に3回の「あつせん」が都庁であり、M組合員と3名の執行委員が交渉に臨みました。支部は、「60歳定年〜年金受給開始65歳までの5年間の賃金相

当額の支払い」を和解解決の基本要求として提示しました。
**たたかいを終わらせる
時が最も難しい**
会社からは極めて低い「解決金額」の提示がありました。主張してたたかいたい点はまだまだありましたが、解雇の状態を長く続けることはMさんにとっては大変なことです。

あつせん員の努力によりM組合員が同意できるレベルの「和解金」の早期支払いで労働使合意に達し、「協定書」を締結しました。支部組合員のみなさんのご支援ありがとうございました。

地域支部第21回定期大会のお知らせ

JMITU北部地域支部は、この21年間、東京北部の地域で活動し、「一人でも加入できる」労働組合として、430人を超える労働者を組合に迎えてきました。一年間を振り返り活動の成果に確信を持ち、次の一年につなぐ大事な大会です。
2022年度「第21回定期大会」もコロナウィルス感染が急拡大の為、下記の通り書面で開催することに致しました。

日時:2022年8月31日(水)
開催方式:書面開催(書面評決)

議案書と同封の書面評決書(はがき)の各議案に対し賛否に〇をさせていただき、8月31日(水)必着で返信していただけますようお願い致します。

北部地協・芋ほり&BBQ

7月9日(土)恒例の北部地協・芋ほり&BBQを行いました。気温は30度くらいの中、熱中症予防をしながら、汗をかきかき、BBQでのビールを楽しみに2時間ほどの芋ほり。中央書記局・村上さんをはじめ総勢14名が参加しました。今年はメイクイーンが主で昨年の倍以上の収穫で各自持ち帰れないほどの量でした。午後からのBBQは、菊池議長挨拶と乾杯の音頭で始まり、汗をかいた後のビールは格別です。22春闘、夏季一時金闘争も終わり、一段落したこの時期に、北部地協の親睦を兼ね、団結を固める大変有意義な一日を過ごすことが出来ました。 和崎



Iさん・初の賃上げ要求と団体交渉

**本人の能力攻撃を
してきた会社**
建築設計事務所所で働くI組合員の、初めての賃上げ要求と団体交渉について、先月7月号で第一回の団体交渉についてお知らせしました。要求に対して文書回答をするように要求しているのに、あえて口頭で回答してくるといふ、誠意を疑わせる対応でしたが、その後労働組合に文書回答を送ってきました。その回答書を分析して8月3日、第2回目の団体交渉が行われました。

**会社のずさんさが
浮き彫りに**
●「排水計画が出来ていません(排水溝を無くせと口頭で指示したのは団交委員の上司です)。
●「7階から下のパイプスペースがありません(なぜ仕事中に聞かずに、団交の席で言うてくるのですか。ちゃんと工夫して設計してあります)。
●「会社は担当を外すとは一度も言ったことはありません(〇月〇日、〇〇の件で話した時「あなたはまだ担当じゃない」とはっきり言われました)。」
会社のずさんさをお見せつるものとなりました。

こんな相談がありました

◆Sさん(女性)プラスチック会社勤務(40名)。「労働組合をつくりたい」の電話相談がJMITU本部にあり、支部の相談員と面談する約束をしました。数日後に「主人から労働組合に相談することはダメと言われ、会社も退職した。」と電話があり相談終了。

◆Mさん(女性)地労連経由の相談。4年前に団体交渉2回で解決した方で2回目の相談。介護施設の違法行為を上司に指摘したら、3か所の配転先を提示された。加入している医

労連に話を通し医労連から要請があれば、地労連として動くこととなった。

◆Kさん(男性)コロナ患者を収容するホテルで清掃する仕事を1年契約、しかし2カ月で終了。会社に電話

で理由を聞いても返事がなく、その後は電話にも出ない。市役所に行き法テラスの制度があるので、相談は法テラスが良いとアドバイス。

◆Yさん(女性)有料老人ホームの看護師として正職員で採用された(3か月間試用期間中)。ホームの利用者への投票ミスが発生した。上司から「辞めてくれ。辞表を書かないのなら『解雇』だ」と言われた。「ミス」の件の反省文を上長に提出し、それでも退職強要してくる場合は、組合に加入し交渉できると伝えた。

◆Sさん(男性)支部相談員の携帯にSMSメール相談。コロナで2回入院(1回目：コロナ、2回目肺炎)傷病手当の申請書類の書き方を教えてほしい。返信メール

投稿写真コーナー 「E217系引退」



今回はJR東日本のE217系。113系の後継で、横須賀総武快速線の他、千葉以東の成田空港や一宮や成東、君津まで乗り入れています。1994~99年にかけて745両が製造され、92年登場の209系の製造コストや、廃車後のリサイクル。地球にやさしい思想が採用され、一時期東海道線に配備されましたが、途中延命更新で30年前後生き延び、老朽化と後継のE235系の登場により数を減らされています。撮影場所は蘇我。[KI]

一人ひとりが主人公

初めて選挙に

かかわってみて

組合員がどの政党を支持するかは個人の自由です。一方労働組合が、特定の政党を支持するということはしませんが、一致する要求での共闘は行っています。

7月10日に投票された、第26回参議院選挙。与党、改憲派優勢と言われた選挙で、私は日本共産党の、山添拓さんを応援しました。「魔の2期目」と言われる2期目の選挙を東京選挙区、3位で見事当選を勝ち取りました。

現役、新人含め、元スポーツ選手、元タレント等、知名度の高い候補者が乱立する中、好成績での当選には、山添さんを応援する勝手連や無党派層の様々な応援が大きな一因であると考えます。

2013年より山添さんを応援してきた勝手連の男性にお話を聞きました。ビラの配り方、お帰りの宣言、SNSでの拡散を、自分達同世代働き世代の

労働組合活動にも

通じるものがある

候補者は山添さんですが、自分達の意見や思いを山添さんの国会の発言に託す為、それぞれが自身の出来る事を懸命に頑張る、山添さんの劣勢が報道される中、最後まで諦めずに頑張ったそうです。

これは選挙のみならず、我々労働組合の活動にも通じる物だと考えます。

そして来年は統一地方選挙。各自自治体の選挙は、私達の声を最も身近に届ける大切な選挙です。

息つく暇もないですが、我々の労働運動と政治や選挙は切っても切れないもの。私達の意見を大事に届けてくれる議員を1人でも多く議会に送る為、これからも共に頑張りますよ。

今後の日程

- 8月17日(水)10:00~: 地域支部臨時執行委員会(ニッカン事務所)
- 20日(土)15:00~: 金属反合2022年中間総括会議(本部会議室)
- 25日(木)18:40~: 北部地協幹事会(ニッカン事務所)
- 27日(土)組織建設・共済拡大推進会議(南部労政会館)
- 29日(月)18:40~: 地協組織部会(ニッカン事務所)
- 31日(日)JMITU北部地域支部第21回定期大会(書面開催)
 - 17:30~: 入間市駅頭宣伝
- 9月2日(金)秋闘事前申入れ交渉
- 3日(土)13:00~: 地域支部第1回執行委員会(ニッカン事務所)

執行委員連絡先

